

記者

職場では
こんな人も
働いています

- アナウンサー
- 事業（イベントの企画など）
- 編成（広報活動や番組編成など）ほか

- この仕事のキーワード

 - テレビ
 - ニュース
 - 今起きていること
 - 取材
 - 原稿を書く
 - 裏（確認）を取る
- こんな人に向いています

 - 人の話を聞くのが好きな人
 - 人に話を聞いてもらうのが好きな人
 - いろいろなことに興味が持てる人



地域で「今起きていること」を言葉と映像でわかりやすく伝える

県内の出来事や、社会問題から地域の小さな声まで「今起きていること」を取材し、ニュース番組で映像とともにわかりやすく伝えるのが放送記者の仕事です。事件・事故などの報道では、警察・消防などにしっかりと確認を取り、確かな情報を間違いなく伝えることが第一。一方、地域で頑張っている人や店などの取材では、質問や会話を通して取材対象者の思いをうまく引き出して原稿にまとめ、その人の言葉や表情、声色とともに視聴者に伝えます。

check!
私がこの仕事に
就いたきっかけ

テレビ局は楽しそうだな、と思っていたことがきっかけです。映像を通して、自分の考えや描くイメージをいろいろな人に知ってもらい、感じてもらえたらいいなと思っていました。地方ならではの楽しい番組づくりに自分も関わりたいと思い入社を決めました。

入社12年目 久保さん

記者の仕事内容

取材

カメラマンと一緒に取材先に行き、取材対象者にインタビューをしたり、事件・事故などの場合は関係者や目撃者、通行人などに話を聞いたりして詳しい情報を集めます。

原稿を書く

取材情報をもとにアナウンサーが読む原稿を書きます。ニュース番組で割り振られた秒刻みの時間内にまとめ、編集長のチェックを受けてオンエア原稿となります。

編集

カメラマンが撮影した映像をどんな出来事があったか伝わるようにつなぎます。よりわかりやすく伝えるため、画面に表示する文字情報（スーパー）を書きます。

放送

ニュースを伝えるアナウンサーのナレーションに合わせてスーパーを出します。番組制作をコントロールする部屋（サブ）でモニターを見ながら機器を操作します。



必要な資格・スキル

- 特に必要な資格はありませんが、普通自動車運転免許はあった方がいいでしょう。

株式会社長野放送（略称：NBS）

長野市岡田町131-7 TEL/026-227-3000
開局/1969年4月 従業員数/90名(2025年4月現在)
支社局/東京・大阪・名古屋・松本(中农信支社)・上田・諏訪・伊那



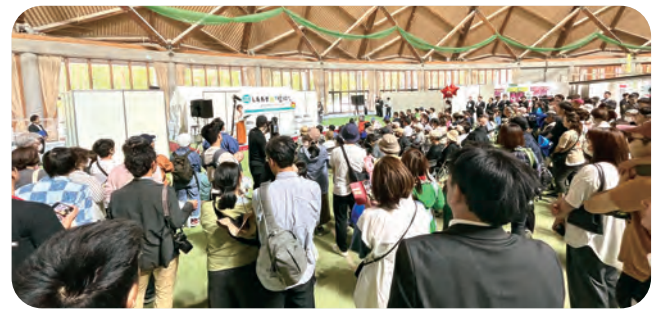
株式会社長野放送（略称：NBS）ではこんな仕事をしています



番組制作
ニュース番組「NBSみんなの信州」の他、グルメや旅情報など県内の旬の話題を取り上げる「土曜はこれダネッ!」などの情報番組、駅伝やサッカーなどのスポーツ中継番組を制作します。



営業活動
テレビ局の仕事はニュースや番組をつくることではありません。営業はCMや番組のスポンサー企業を探して放送局の収入を得る仕事です。先方のニーズに合わせて提案・販売をしています。



コンサート・イベント
県内で行われるコンサートやイベントをCMで告知したり、運営に関わったりすることもあります。長野放送主催イベントでは県民の皆さんに楽しんでもらえる企画を考え、運営しています。



技術部門
番組制作でカメラ撮影や音声を担当し、アンテナなどテレビ放送に必要な設備の運用・メンテナンスも行います。また、番組やCMが間違いなく放送されていることの確認作業も担います。

様々なプロジェクトでSDGsを推進しています

森、川を通じて海につながる長野県から、海の資源問題・環境問題を発信する「海と日本プロジェクト in 長野」に取り組んでいます。また、県内で生まれた赤ちゃん全員を対象にした「はじめてばこ」では、信州の自然の恵みと文化をモチーフにした飾り箱に協賛社様からのプレゼントを詰めて贈り、子育てを応援しています。

